

リハビリテーションセンター

1. 概要

リハビリテーションセンターは診療部門、理学療法部門、作業療法部門、言語聴覚療法部門で構成されており、脳血管疾患リハビリ、運動器リハビリ、呼吸器リハビリ、心大血管疾患リハビリ、がん患者リハビリに対応している。診療部門では、診察、リハビリ処方を行う。理学療法部門では、日常生活における基本的動作能力回復目的の運動療法及び呼吸器・循環器疾患や術後の機能回復を目指した運動療法を行う。また筋電図、筋力測定、心肺運動負荷試験等の身体機能を評価する。作業療法部門では、生活における動作の獲得、家事動作や職業への復帰目的の訓練・援助を行う。上肢の機能評価および高次脳機能障害の評価、訓練にも対応する。言語聴覚療法部門では、脳血管疾患や脳の外傷、あるいは発声器官の障害により生じた失語症や構音障害の患者、言語発達の遅れや口唇口蓋裂の小児に対する言語訓練を行う。また、摂食・嚥下障害の機能回復目的の訓練・指導をしている。

(センター長 石川 知志)

2. 活動報告

(1) 利用状況

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度
延患者数(人)	110,992	107,073	106,823
1日平均(人)	462.5	438.8	437.8
外来開院日数	240日	244日	244日

※病院事業収支及び活動状況（報告）